



写真：走井地区の稲刈り体験



栗東市金勝地域「やまの健康」宣言

令和3年(2021年)1月発行

【推進体制】

- 明日の走井を考える会
- 金勝生産森林組合
- 一般社団法人栗東市観光協会

体験に「参加」してみたい方、体験を「提供」してみたい方 募集中

新しいことに挑戦したい方、活動に協力してくれる方を募集しています。
右のQRコードを読み取り、ご意見をお聞かせください。



滋賀県「やまの健康」モデル地域
栗東市金勝地域 令和2年度～令和4年度

この宣言は、滋賀県「やまの健康」推進プロジェクトにおいて令和2年10月から12月にかけて開催した地域プラットフォームの協議により作成されました。
表紙・文中写真は一般社団法人栗東市観光協会提供。

やまの健康宣言

暮らしにもっと〈里山で過ごす豊かな時間〉を！

人が集まる空間、地域の賑わいを創出し、明るく元気な金勝の山と地域の暮らしを守ります。



行ってみたい、ずっと住みたい
栗東市金勝地域
こんぜ



スラックラインパーク

体験のレクチャーを受ける様子



ライトアップされた金勝寺



夜のバンガロー村



地域の取組み

金勝地域の走井地区では、地域の良さを地域内外の人々に広くPRするため、田植えや稲刈りの農業体験や、毎年10月には農業祭イベント「ハーベスタ・イン・走井」を開催しています。

地域の抱える課題

□若者の山離れ

地域から若者が離れ、過疎化・高齢化が進んでいます。その結果、田や森林の手入れをする人が減っただけでなく、空き家の増加も問題になっています。

□山の健康維持

森林を管理する人の減少により、山の多面的機能の維持が困難になっています。適切な間伐が行われないと、山は暗く、木は細く、地面に草木が生えにくい状態となります。その結果、雨が降ったときに表面の土砂が流れやすく、土砂災害の危険があります。

また、山へ出入りする人や、ハイキング利用者が減ったことなどにより、かつて整備されていた遊歩道は落ち葉や草木が生い茂り、一部では人が立ち入れない状態になっています。

□来訪者を受け入れる環境整備

ハイキングやレジャー体験、イベントなどを目的に地域を訪れる人がいますが、施設の老朽化や駐車場・トイレの不足などが問題となっており、来訪者を受け入れる環境が十分に整っていません。

ここが金勝地域の魅力

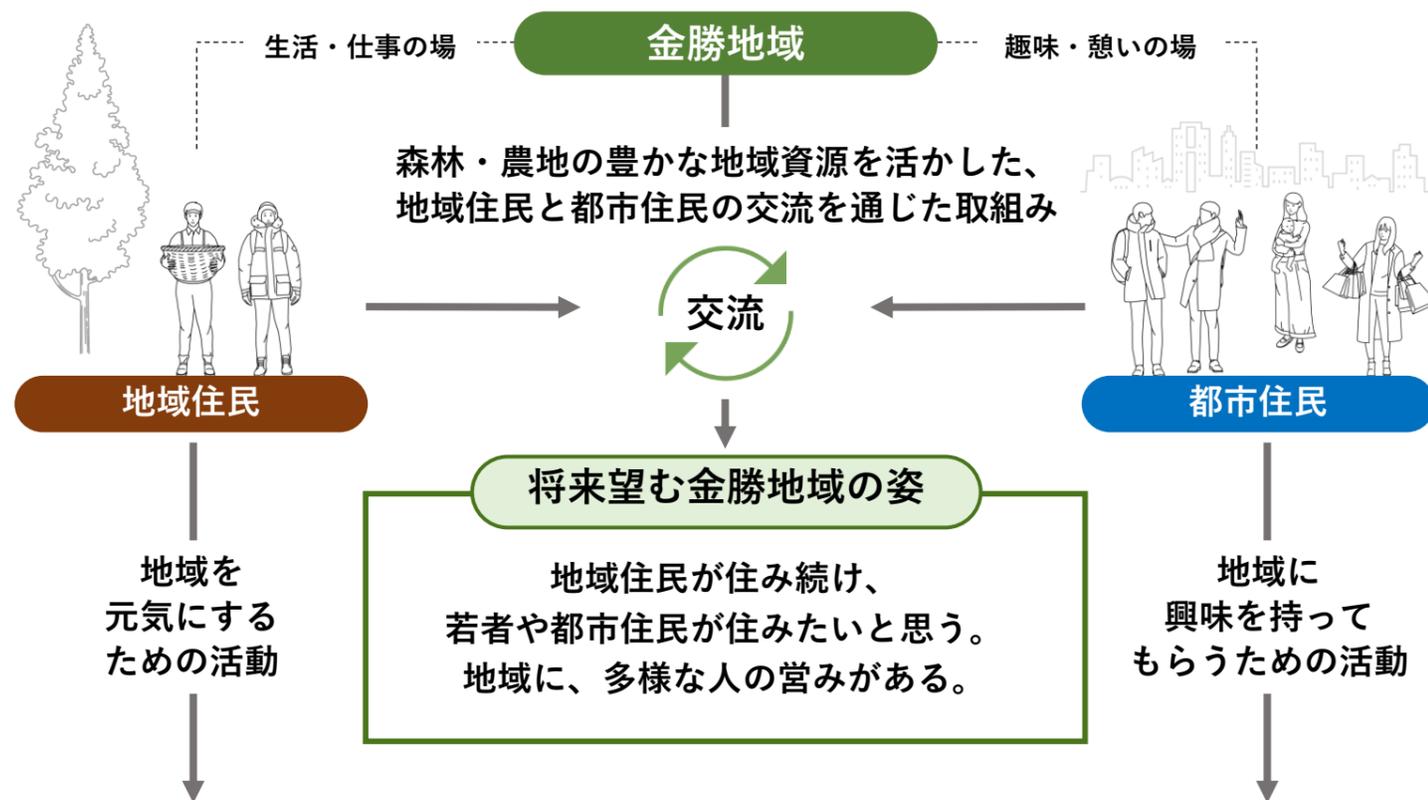
金勝アルプスが織りなす美しい山々の景観もさることながら、田植え時期の水が張られた棚田や、稲穂が煌めく棚田など、季節によって素晴らしい田園風景が広がっています。また、市街地から15分という立地ながらも、山の自然を満喫することができる体験型アクティビティや、山の道の駅、コテージに宿泊できるバンガロー村など、様々な体験型コンテンツが充実しています。山が好きなお客も、そうでない人も、きっと金勝地域で里山の魅力を発見できるはずですよ。



次世代に継承される 里山の暮らし

～行きたい、住みたい みんなのプレイグラウンド こんぜ～

私たちは、地域資源を活かした暮らしと遊びの体験を共有し、関係人口の増加を図ることで農山村の保全、地域の活性化を目指します。



Action 1 体験の提供・販売

地域のことをよく知ってもらうためには、まず興味を持ってもらうことが必要です。山で楽しむアウトドアやアクティビティ、農業・林業体験など、様々な体験の場を提供し、様々な世代に対して山に興味をもってもらうためのきっかけづくりを行います。

Action 2 森林・農地の適正管理

自然豊かな地域の魅力を多くの人に知ってもらい、その魅力を次世代に継承していくため、農地や森林を体験の場として活用し、農業・林業の楽しみ方を伝えます。そのために、今後優先して活用する農地や、個人が所有する森林の管理状況、空き家の利用意向などを明らかにするとともに、体験を通じた活動で管理・保全を図ります。

Action 3 山がある暮らしの提案

休日に田んぼを耕しに来る人や山の見回りに来る人など、山と関わりながら暮らし続けられる人を増やすため、山や田んぼの作業だけでなく、ここでしかできない趣味や余暇活動などの楽しみ方を提案し、山と関わりながら暮らす人に向けた暮らしの提案や居場所づくりを支援します。